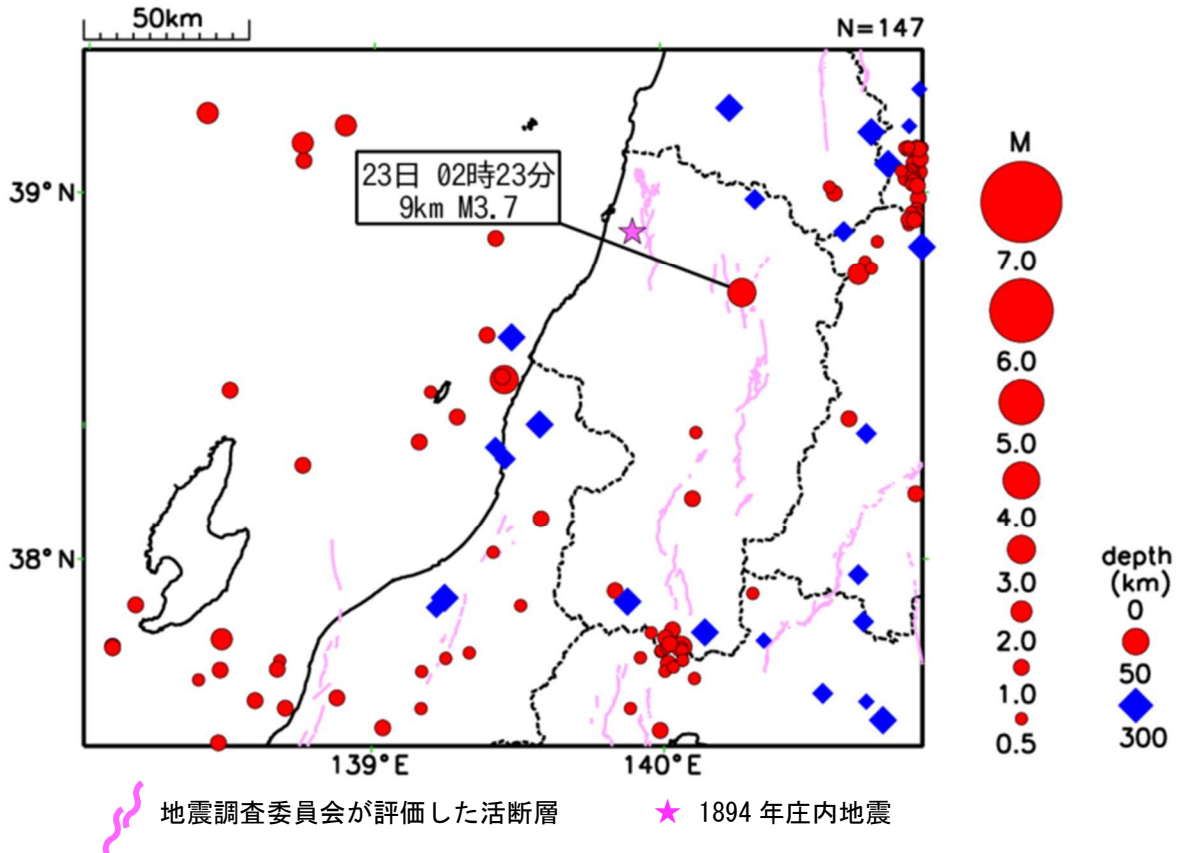


山形県月間地震概況（2023年11月）

山形地方気象台

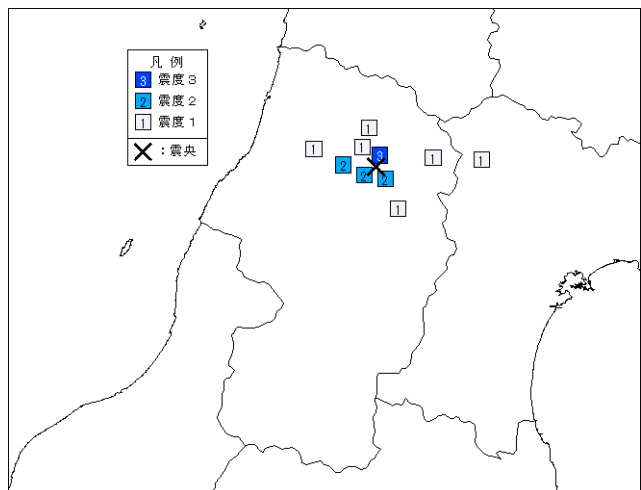
今期間(11月1日～30日)の震央分布図



【概況】

この期間、山形県とその周辺(上図の範囲内)で観測した地震は147回であった。また期間中に県内で震度1以上を観測した地震は3回(前期間3回)であった。

23日02時23分に山形県最上地方の深さ9kmでM3.7の地震が発生し、新庄市で震度3を観測したほか、県内で震度2～1を観測した。秋田県、宮城県でも震度1を観測した。この地震は地殻内で発生した(詳細は地震津波防災メモ参照)。

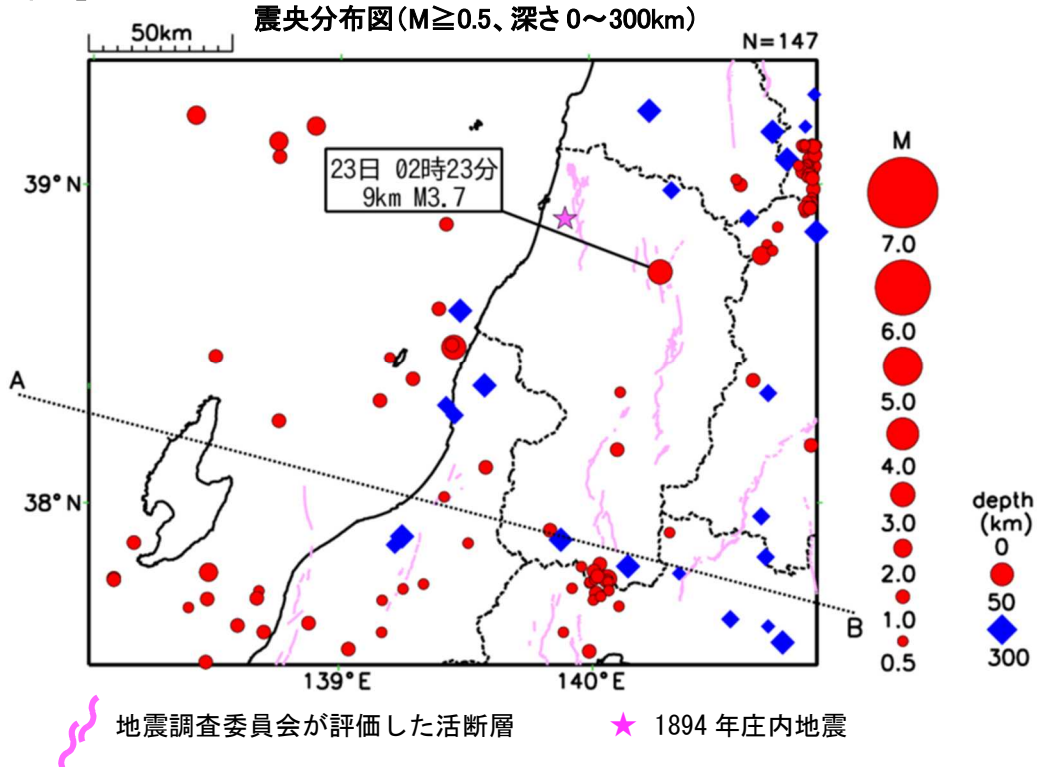


23日02時23分に山形県最上地方で発生した地震(M3.7)の震央(×)と市町村別震度

※本資料では、地震の規模を示すマグニチュードを「M」として表記している。

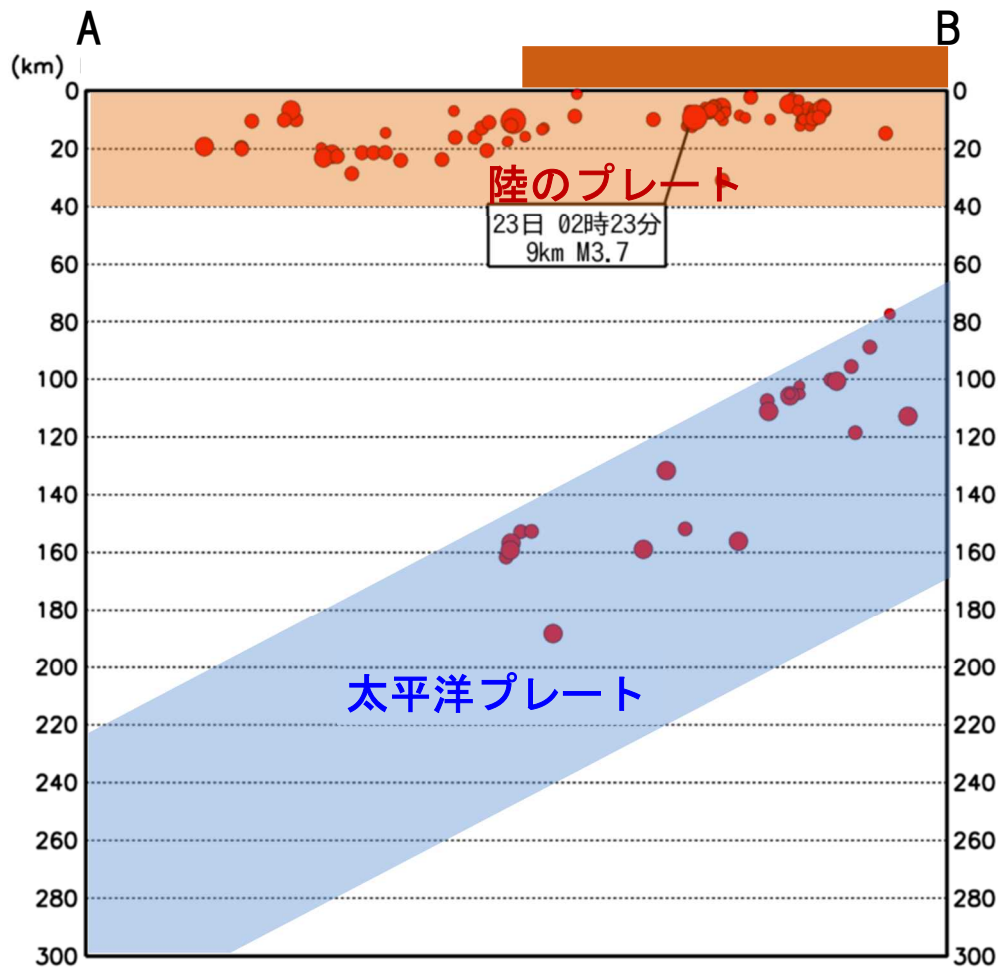
※山形県の各地の震度の詳細は、別紙「山形県で震度1以上を観測した地震の表」を参照。なお震源要素等は、再調査により変更することがある。

【震央分布図】



【断面図】

断面図は震央分布図内の震源を直線 A-B(太平洋プレートの沈み込む方向)に投影したものである。



※太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。

※ は陸地の大まかな位置を示している。

※陸地から離れた海域ほど、震源の深さ精度は良くない。なお、沖合いの地殻内で発生する地震の震源は、実際はより浅いものが多いと考えられる。

山形県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2023年11月 1日～2023年11月30日

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2023年11月06日02時10分	福島県沖	37° 49.7' N	141° 37.7' E	56km	M5.0
山形県	震度 1	：新庄市東谷地田町 最上町向町* 舟形町舟形* 大蔵村肘折* 大蔵村清水* 鮭川村佐渡* 戸沢村古口* 山形市薬師町* 寒河江市西根* 寒河江市中央* 上山市河崎* 村山市中央* 天童市老野森* 東根市中央* 山辺町緑ヶ丘* 中山町長崎* 河北町吉田 河北町役場* 西川町大井沢* 大江町左沢* 尾花沢市若葉町* 大石田町緑町* 米沢市駅前 米沢市アルカディア 米沢市林泉寺* 米沢市金池* 長井市本町* 南陽市三間通* 高畠町高畠* 山形川西町上小松* 山形小国町岩井沢 白鷹町黒鴨 白鷹町荒砥*			
2023年11月20日06時01分	青森県東方沖	41° 10.0' N	142° 17.5' E	52km	M5.9
山形県	震度 1	：酒田市飛鳥* 酒田市山田* 中山町長崎*			
2023年11月23日02時23分	山形県最上地方	38° 43.8' N	140° 16.7' E	9km	M3.7
山形県	震度 3	：新庄市堀端町*			
	震度 2	：新庄市東谷地田町 新庄市住吉町* 舟形町舟形* 大蔵村清水* 戸沢村古口*			
	震度 1	：庄内町清川* 庄内町狩川* 最上町向町* 真室川町新町* 大蔵村肘折* 鮭川村佐渡* 大石田町緑町*			

(注) 地震の震源要素等は、再調査により変更することがある。

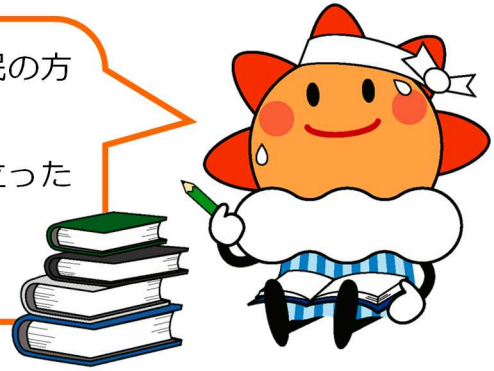
各地の震度は山形県のみを示し、*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

11月23日に発生した最上地方の地震について

夜遅くに発生した地震だったため最上地方の住民の方で驚かれた方も多かったのではないのでしょうか？

現在、活動は落ち着いていますがここ数年、目立った地震活動が無かった場所で発生した地震ですので、詳しくご紹介します。



地震の概要

11月23日02時23分に、山形県最上地方の深さ9kmでマグニチュード3.7の地震が発生し、新庄市で最大震度3を観測しました。（震度の詳細は震央分布図、M-T図および回数積算図を参照）

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近でマグニチュード3.0以上の地震が発生したのは、1998年12月23日（マグニチュード3.3、戸沢村で最大震度2）以来です。

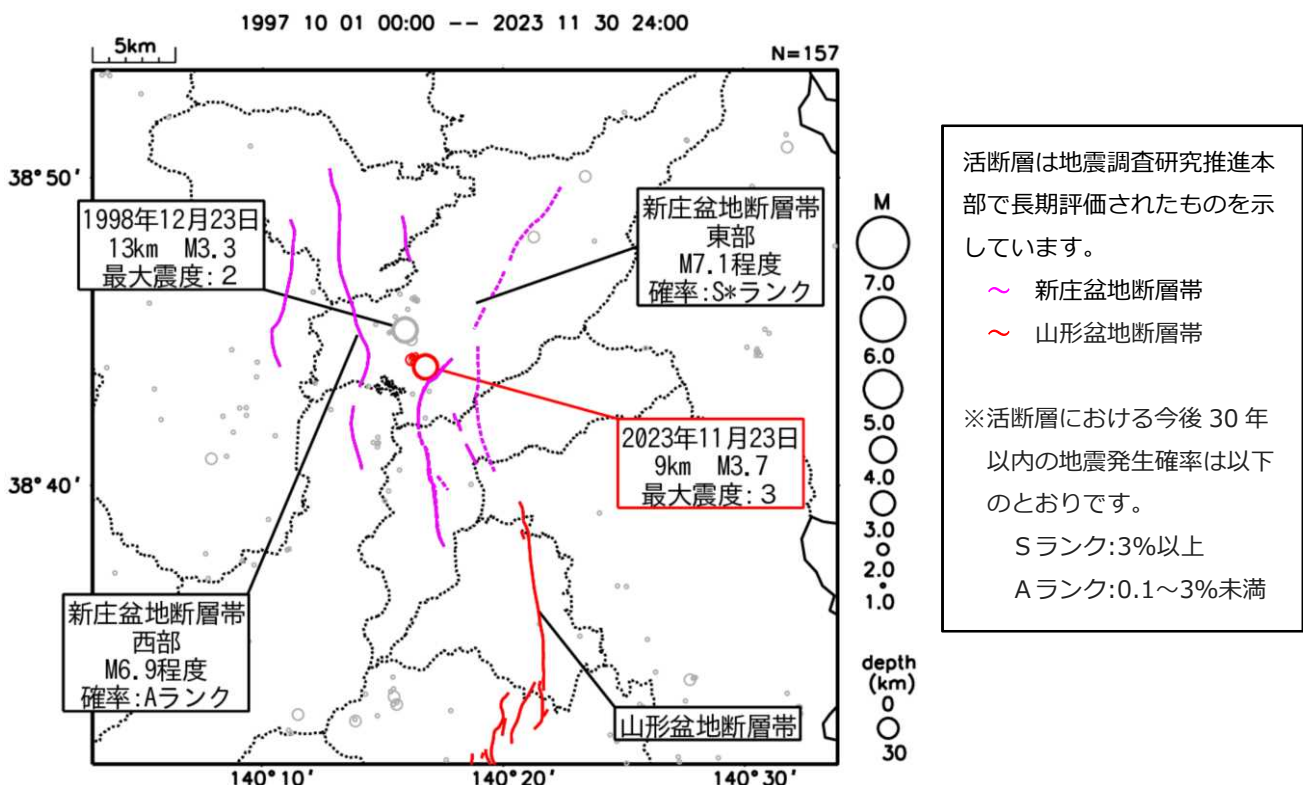
現在、この付近の地震活動は落ち着いていますが今回のように地震は突然発生します。あらためて、日頃から地震に備えていただきますようお願いします。

地震発生場所、回数など

震央分布図

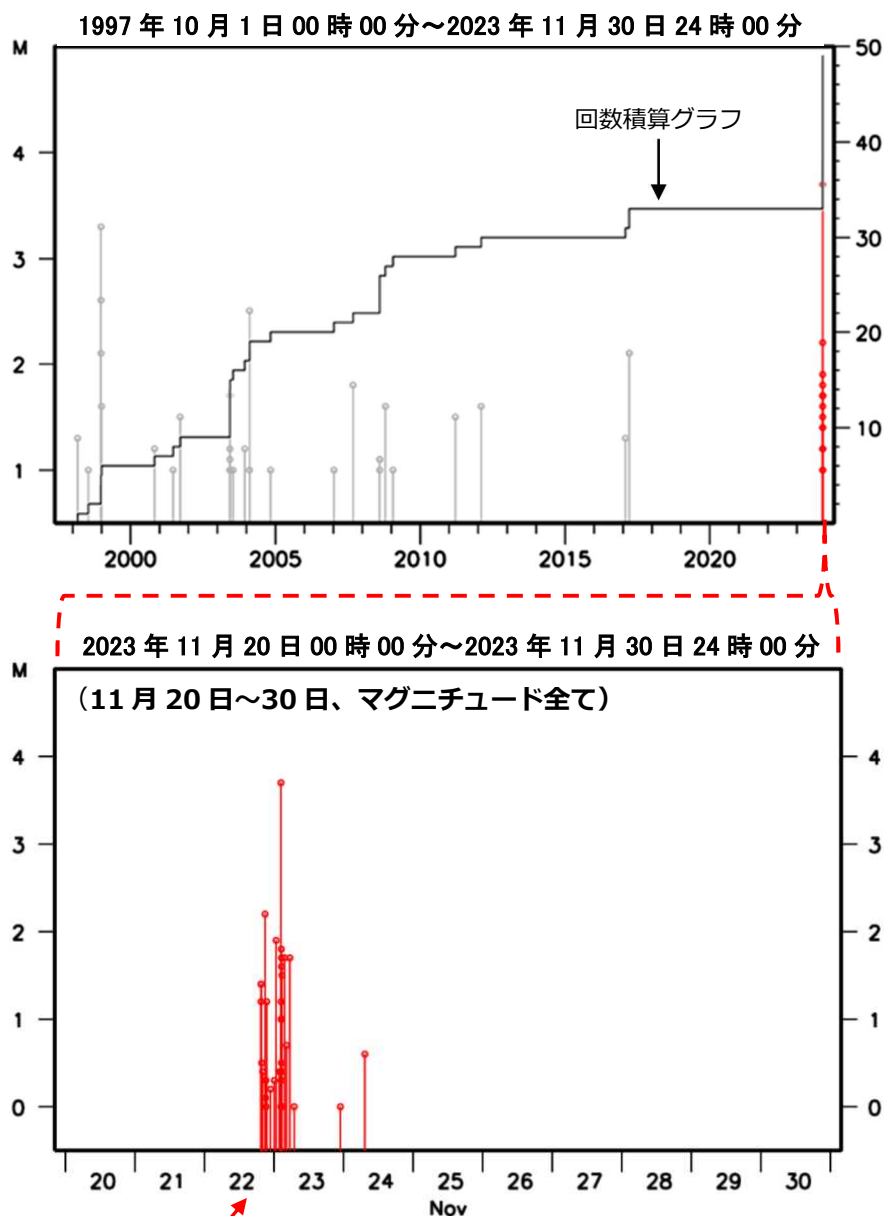
1997年10月1日～2023年11月30日の地震を表示（マグニチュード ≥ 1.0 、深さ ≤ 30 km）

2023年11月の地震を赤色で表示



M-T図（※） および回数積算図

（下図の左目盛はマグニチュード、右目盛は地震回数を表しています）



22日夜から地震活動が活発になり、23日02時23分にマグニチュード3.7の地震が発生。その後、23日午後から地震がおさまり始めました。
24日午後以降、地震は発生していません。

※ M-T図とは、発生した地震の時間とマグニチュードを同時に表示したものです。

地震から身を守る方法については気象庁HPの
「地震から身を守るために」をご覧ください。

https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/jishin_bosai/index.html

